

本会議代表質問



私は、住み続けられるまちづくりのために、大型スーパーの出店を規制し堀川商店街を守れと求めました。また、堀川団地再整備は、住民と商店街の声を聞き合意を図るべきと求めました。

ニュー京都ホテル跡地へのイズミヤ出店については、住民合意のない建設は認められません。

雇用を増やし、賃金を底上げすることが景気回復の決め手です！

大型スーパーの出店を規制し、堀川商店街を守れ

くらた イズミヤの商業戦略は堀川商店街を凌駕するもの。京都市は、商店街はなくてはならないものとしてきたではないか。商店街を守るために規制することを求める。

産業観光局長 「商業集積ガイドプラン」に基づき指導しており、今回の出店も上限を守るもの。大店立地法に基づき周辺的生活環境保持に配慮を求める。

注「商業集積ガイドプラン」に問題があります

堀川団地再整備は、住民・商店街の合意で

くらた 「まともな説明は聞いていない」「住み続けられるのだろうか、家賃値上げが心配」「府の再整備計画で商店街として成り立つのだろうか」「整備後も営業できるのだろうか」等の意見がある。この声をよく聞き、住民生活を支える立場で市の役割を果たすべき。

門川市長 「堀川団地町づくり協議会」や、「堀川団地再生・事業推進委員会」に参加している。建物の安全性、にぎわい創出やコミュニティ活性化の推進のため、商店街、入居者、地域住民の理解の上で進めるよう働きかける。

日本共産党 京都市会議員

ともこ **くらた共子**



<http://www.tomoko-kurata.jp/> @kuratatomoko メールマガジン発行中

災害時に備えて、袋路対策の強化を！

上京区全体の細街路は600カ所、市内全域では4330カ所です。細街路対策事業の補助額は上限30万円。インセンティブが働かなければ成果はあがりません。防災対策として、事業内容を発展させるよう求めました。都市計画局長は、「現時点で補助額は妥当。実施にあたって、住民、不動産事業者と連携し、特性に応じたきめ細やかな対応を進める」と答弁しました。

市民の命にかかわる問題です。引き続き追求していきます。



▲上京区の袋路(仁和西町)

猪熊通りにイズミヤの車両出入り口!?

イズミヤは住民説明会で、「猪熊通りに出入り口を設ける以外に方法はない」と繰り返すばかりです。「せめて、出入りの一方にして欲しい」は住民の切実な声です。幼稚園や発達支援センター「かがやき」がある元待賢小学校、予備校の駐輪場などが、コミュニティ道路である猪熊通りに面しています。住民や関係者の合意の得られない強引な建設は認められません。



▲コミュニティ道路として整備された猪熊通り